



「14歳の進路選択」

校長 藤田 賢一郎

3年生は、いよいよ進路選択のための大切な時期を迎えます。全校朝会では、進路選択について、全校生徒に次のように語りかけました。

私には、タイ王国に大切な友人がいます。友人は日本人で、タイの方と結婚して、子供も二人生まれ、タイで暮らしています。

10年ほど前、その友人のお子さん(A)さんから、進路について相談を受けました。当時、Aさんは日本人学校の中学部2年生で、進路や将来に悩んでいました。

日本人学校の生徒の多くはタイに派遣されている日本人ビジネスマンの子供で、当時タイの日本人学校は中学部までであったため、生徒の大半は中学部卒業前に帰国し、日本の高校に進学していました。Aさんのように両親のいずれかが日本人でタイ在住の生徒は少数で、Aさんのようなタイ在住生徒の進路選択は、主に次の三択となるそうです。

- 1 現地、タイ王国の高校に進学
- 2 日本で親戚等と住み、日本の高校に進学
- 3 他の国(主に英語圏)にホームステイ等をして、その国の高校に進学

Aさんは、アメリカ合衆国で学ぶことに魅力を感じながらも、選択に悩んでいました。タイ語、日本語は流暢(ちょう)に話せますが、英語は日本の中学2年生レベルです。日常会話も授業もテストも英語でというのは困難ですから、アメリカの高校に進学するには、中学2年生時に進路選択をしてアメリカに行き、ホームステイをしながら英語をマスターして英語で入学試験を受けなければなりません。「3」の選択は、14歳で親元を離れ、慣れない国で暮らすという選択でもあります。もし、みなさんがAさんなら、どの進路を選択しますか。

私は、「自分の子供が、一人でアメリカに行きたいって言えるかな?」と考えながらも、Aさんに次のように話しました。

「人生の中で、親の庇(ひ)護のもとで暮らす期間はとても短い。自分で人生を切り拓く、その

ときは、あっという間にやってくる。あなたは今がそのとき。だから、自分の人生は自分で選び、デザインすればよい。そのために、たくさん悩めばよいし、親ともことん話し合えばよい。たとえ希望どおりの道に進んでも、『別の道の方がよかったのではないか』と思うとき、壁にぶち当たるときが必ずあるだろう。しかし、『あのとき、あれだけ悩んで決めた道だから』と、前を向いて歩み続ける勇氣になるはずだ」と。

コロナ渦の前に、21歳になったAさんとスペイン料理店で再会しました。Aさんは、14歳の進路選択で渡米することを決め、その後、アメリカの高校に進学、卒業しました。現在、日本の大学に進学して政治経済を学んでいます。再会した店はAさんのアルバイト先で、大学で専攻しているスペイン語をマスターするために選んだと、明るく頼もしい表情で話してくれました。

私は、赤ちゃんの頃から知っているAさんが、自ら選んだ進路で、タイ語、日本語、英語、スペイン語を話すグローバルな学生としてどのような大学時代を過ごし、どのような職業に就き、どのような人生を送るのか、きっと豊かな人生に違いないと、Aさんの将来に大きな期待を寄せながら、見守り続けたいと思いました。

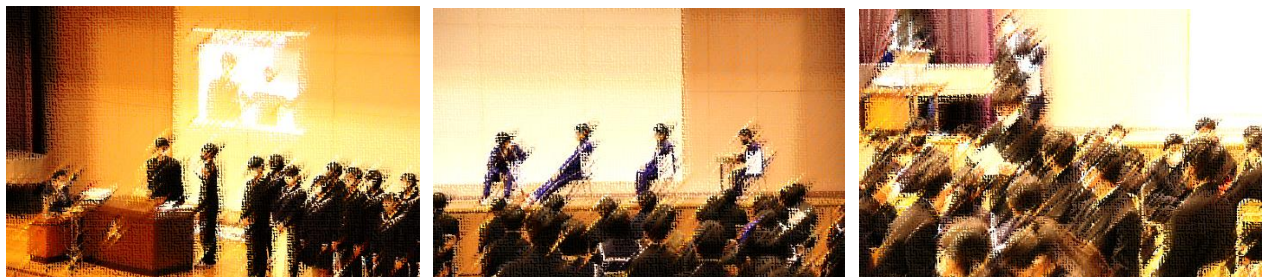
期末面談が始まります。3年生は、進路選択のための面談です。自分の人生を切り拓く、大切な機会としましょう。1、2年生も、3年生の姿に学びながら、自分の進路を考える好機としましょう。みなさんは、18歳で成人を迎えます。成人までの日々は、あっという間です。一人前の社会人として社会から認められる自分、なりたい自分に向かって、大いに悩みながら自分で進路を選び、歩みましょう。心から応援します。

生徒たちは、日々悩みながら自分の人生を切り拓いていきます。教職員は、生徒一人一人が自分の適性を理解し、未来に向かって充実した日々を過ごせるように、指導、支援に努めます。

引き続き、保護者、地域の皆様の温かなご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

いじめをなくすために～いじめ見逃しゼロスクール集会～

板倉中学校区の小中学校、5校でいじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。今年度は5校をリモートでつないで、中学校の取組や感想発表を共有しました。生徒会総務の劇を見て、いじめを防ぐために何ができるのかを全員で考えました。そして最後に、全員で「いじめ見逃しゼロ」を宣言しました。いじめをなくすために自分たちに何ができるかを、真剣に考えている様子がありました。



いじめ見逃しゼロスクール集会を終えて

取組全体を振り返って

生徒会長 古川 聖也さん

いじめ見逃しゼロ週間中は、各委員会がそれぞれ、どのようにしたら全校生徒が明るい学校生活を送れるのかをしっかりと考えて、取り組みました。また、今年の集会は、中学校と各小学校とをリモートで繋いで行いました。昨年までとは違う方法で行ったため、うまくいくか不安でしたが、参加した全員が真剣に考えることができたと思います。今回の取組で身に付けた意識を、この集会で終わらせるのではなく、継続して、いじめ見逃しゼロを目指します。

いじめ見逃し0の取組

応援団長 白砂 尚哉さん

応援団では、全校生徒に考えてもらったいじめゼロの標語を、階段に掲示する「スローガンステップ運動」を行いました。階段に掲示することによって、「多くの生徒の目に留まる」ことがねらいです。この活動を通して、全校生徒のいじめに対する意識を高め、考える機会を増やすことができたと思います。

いじめ見逃し0の取組

体育委員長 吉田 結人さん

体育委員会では、「心を通わず縄跳び大会」を行いました。この活動には、学級のみならず力を合わせて跳ぶことで、「団結力と信頼感を高めよう」というねらいがあります。活動の中で、跳んでいるときに声を出し合う姿が見られ、団結力、信頼感が高まっていたと思います。ねらいが達成できたので、よかったです。

小学生からの感想

山部小学校 6年生 一條 美峰さん

もしもいじめが起きたら、見逃さずいじめている人を注意できるようになりたいです。このいじめ見逃しゼロスクール集会で改めていじめはだめだと思いました。これからは、宣言したことを実行したいです。

いじめ見逃しゼロスクール集会を終えて

2年生 平出 海紀さん

このいじめ見逃しゼロスクール集会で私が思ったことは、今もまだいじめをする人がいるということです。この活動を通して、どうしていじめをするのか、人に嫌なことをするのが楽しいのかと不思議に思いました。その上で、「自分にできることはないのか。」を考えました。いじめを見逃さず、すぐに声をかけて助ける。私にできることは少ないかもしれないけれど、改めて周りを見てできる限りのことをしたいと思いました。



伝統を引き継いで 令和3年度 生徒会役員選挙

12月2日(水)に来年度の生徒会三役を決める選挙が行われました。

立候補した全員が、来年度の板倉中学校を一步前進させたいという意欲に満ちた演説をしました。

【令和3年度生徒会役員】

生徒会長	古澤 花楓 さん
副生徒会長	
男子	上原 琉天 さん
女子	小林 心春 さん
応援団長	三浦 朋来 さん



選挙管理委員長 塩嶋 晴貴さん

今年は、私が板中で過ごした三年間の中で一番活発に選挙が行われたと思います。それは立候補者数が多く、立候補者も投票する人もやりがいのある選挙になったと思いました。しかし、考えたらそれだけ当選できない人が出るわけなので、当選した人は今後の活動に責任をもって取り組み、当選できなかった人も自分にできることを考え全校生徒全員でよりよい板倉中学校を築き上げてください。

選挙活動に取り組んで

2年生 小林 愛梨さん

私は今回の生徒会役員選挙で、責任者を経験しました。私にとって初めての大きな経験で、不安もありましたが、準備を進めていくうちに選挙に対する思いが強くなっていきました。立会演説会当日は、責任者として自分の思いや考えを十分に伝えることができました。

全校生徒が真剣にこの選挙に向き合ってくれたことがとても嬉しかったです。立会演説会でステージに立った人たちは、とても大きな経験をしました。いろいろな思いを背負って、来年度の板中をリードしてくれるはずです。私もこの経験を様々な活動に生かせるよう、来年度の生徒会活動にこれまで以上に積極的に関わっていこうと思います。

自分の生き方について考えました～巨大書体験教室～



12月3日(木)、書・篆刻作家の柳澤魁秀さんを講師にお招きして、「出前体験教室」を行いました。1年生を対象に行ったこの体験教室では、生徒一人一人が事前に決めておいた「自分が生きる上で大切にしていきたいこと」を表した漢字一文字を、大きな紙と大きな筆で書きました。



その後、魁秀さんが巨大書を書くパフォーマンスを見せてくださいました。書かれた言葉は、「夢のとびら」。魁秀さんが1年生に語ってくださった、この作品に込めた思いを、紹介します。

「今、夢のとびらの前に立っている皆さん。このとびらは、誰も開いてはくれません。あなた自身が開くのです。ぜひ、自分自身の力でとびらを開き、自分だけの人生を切り開いていってください。

海外の多くの若者たちに日本の文化を紹介し教えてきた私から、皆さんに伝えたいことは、2つです。1つ目は、自分の思いや考えを進んで表現し、自分の存在をアピールしてほしいということです。2つ目は、自分の生まれ育った地域や国のよさを伝えられる人になってほしいということです。ぜひ、自分の人生のスタートとなったこの地域を豊かに語る言葉をもってください。」

魁秀さんは他にも、「一流の人がしている5つのこと」などを教えてください、これからの生き方の指針となるお話をしてくださいました。

1年生は、この活動の後、「自分の作品を語る」という活動を行って互いの思いを交流し、「これからの自分の生き方」についての考えを深めました。
(文責：国語科 丸山徳子)

1年 古海 悠真さん

柳澤さんが巨大書を書くのを見て、「一生懸命」とは何かを知ることができました。一生懸命とは、生きていの中で「今はいい」や「ここだけは全力でやろう」ではなくて、いつ、どんなときでも、今することに全力で取り組むことが、「一生懸命」なんだとわかりました。また、柳澤さんの「一流」のお話の中で、一番大切にしたいのは「失敗を恐れない」ということです。僕は野球をするとき、「エラーをしたら何かを言われるのではないか」「失敗をしたら負けてしまう」ということを思ってしまいます。柳澤さんのお話を聞いて、失敗を恐れないで、がむしゃらにやってみようと思いました。やはり、失敗を恐れていたら、いつになってもうまくなつてならないと思いました。柳澤さん、たくさんのことを教えてください、ありがとうございました。

ありがとう 私の母校③ ～針小学校～

3年 中村 望愛さん

私の思い出は、6年間登った「みかぶり山遠足」です。班の人たちと、長くてつらい道がんばって歩きました。友達がいってくれたおかげで、つらい山道も楽しく登ることができました。友達の大切さを知ることができた遠足でした。たくさんのことを学ばせてくれた針小学校、ありがとう！

輝く栄光

◇令和2年「宇宙の日」記念行事

全国小・中学生作文絵画コンテスト

◇中学生人権作文コンテスト

◇第44回新潟県アンサンブルコンテスト中学校の部

◇第45回「ごはん・お米とわたし」作文コンクール

作文の部 優秀賞 3年 古川 聖也さん

上越地区優秀賞 3年 種岡 希羽さん

金賞 管楽打楽器七重奏

入選 1年 荻戸 千幸さん

1月の予定

6日(水) 3年生実力テスト

8日(金) 3学期始業式・生徒会新三役任命式

13日(水) ～教育相談

14日(木) いなほタイム

18日(月) 避難訓練

19日(火) 私立専願一次・併願・推薦入試

22日(金) 委員長委嘱式・生徒総会・引継ぎ式

25日(月)～27日(水) 3年生三者面談

28日(木)・29日(金)

3年生第3回定期テスト

29日(金) 巡回ミニ平和展(～2/19)

※19日(火)に予定していた1, 2年生スキー授業は、中止いたしました。